

年度末に際し

3月も半ばになり、春らしい気候になってきました。例年よりも暖かい日が続きますので、岩戸の桜も早く見ごろになるかもしれません。



<祝卒業>

3月10日(金)は卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルス感染予防のため、2年生が体育館での式に参列し、1年生は特別教室に分かれ、映像を見ながらの参加でした。式は滞りなく進められ、厳粛な雰囲気の中、卒業生は皆堂々と胸を張って卒業証書を受け取ることができました。

<多様性を認める>

今年度の卒業生が入学した3年前は、知的障害教育部門のコースを統合した年でもあります。それまでは就労コース、自立支援コースに分かれ、それぞれが異なった学習活動を行っていました。しかし、インクルーシブ教育の推進や多様性を認め共生社会を実現していく中で、様々な特性をもつ生徒同士が、互いを認め理解し合うことの大切さ、そして生徒に合わせ柔軟に学習を行う必要性等から、コース制を廃止することとなりました。コース制をなくすことに対しては、保護者の方から心配の声もありましたが、学校生活の様子を見ていただく中で、それまでの不安が安心感にかわっていったように思います。

コース統合3年目となる今年度は、肢体不自由教育部門、知的障害教育部門の日課表の時程をそろえることで、授業の交流ができるようになりました。部活動や職業の授業、昼休みの委員会活動等、一緒に活動することが当たり前になることは、互いを認め合う第一歩です。コース統合の第1期生となった卒業生は、岩戸養護学校が大切にしてきた教育を、先頭に立って体現してくれました。

卒業式後、2年生の生徒からは、感動したという声が聞かれました。卒業生の堂々とした態度、真剣に式に臨むその眼差しは、式に参加していた在校生の心に強く響くものがあったことでしょう。在校生は4月にそれぞれ進級し、3年生、2年生として新入生を迎えます。卒業生の残してくれたものを大切に受け継ぎ、新たな岩戸支援学校を引っ張っていってくださることでしょう。

副校長 小川